ひ
ほんを よもう
かぞえうた
4 をすの やろご
る えにっきを かこう
7 364
8 おさるが ふねを かきました
10
□ みんなの まえで はなそう
にはもしたいな、なっやすみのこと 5

は えっけて よもう
け はまべて ひろったよ
2 かたかなを みつけよう
52
巧 3 かんさつした ことを かこう
び がっこうで みつけたよ
% 「ねリイゲーム」を しよう
2 やんじの できかた
8 おるごかん
器 おはなつが こっぱい
38
器 この ほんで がくしゅうした かんじ①~④ … 88
2
伝 一年生で 学しゅうする かん字①~③ C

教師用指導書「ワークシート集」について

習過程に合わせて利用できるように編集したワークシート集です。本書は、今和二年度版「みんなと学ぶ小学校国語」の各教材の学

認していただき、授業の有効な場面で活用してください。した資料も収めています。それぞれのワークシートをあらかじめ確に即したもののほかに、漢字や文字学習など、日常的な学習に対応展開に応じた実践的なワークシートを用意しています。また、教材教師用指導書解説編及び朱書編との関連を考慮し、各教材の授業

や学びの定着が高まることを願っています。本書に収められた資料を十分に活用することで、児童の学習意欲

□本書の使い方

ピーしてください。判で作成しています。ご使用の際には、適宜日4判程度に拡大コ本書は、図書としての扱いやすさを考慮して、教科書と同じ日5

く。をダウンロードして、必要部数をプリントアウトしてご使用くださ「小学校国語」よりダウンロードすることができます。適宜、資料また、本書掲載のワークシートのデータを、弊社ホームページ内

□本書の構成

♥ 授業展開に合わせたワークシート

シートです。教科書の学習過程に合わせて利用できるように編集したワーク

意欲付けができるよう配慮した内容になっています。作業を行うのではなく、内容理解や自身の学習評価、次の学習へのんだり、友達の発言を記録したりすることができます。単なる学習児童が主体的に学習課題に取り組めるよう、考えたことを書き込

い。ういったときには、本資料を参考にして、自作するなどしてくださたワークシートが授業に適さない場合が生じることもあります。そなお、学級の実態やノート指導の観点などから、本書に収められ

● 「言葉をつないで文を作ろう」

ています。学習指導要領では、漢字の読み書きについて、次のように記され

かけて、確実に書き、使えるようにすることとしている。るという実態を考慮し、書きの指導は2学年間という時間を漢字の読み書きについては、書きの方が習得に時間がかか

ページをもとに作成したものです。とを受け、教科書で設定された「言葉をつないで文を作ろう」のの学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う」こよって、学習指導要領の「知識及び技能」①エの「当該学年の前

した資料です。ます。漢字の定着のみならず、文章の創作意欲をかき立てるのに適したことなどを織り交ぜながら、楽しく表現することをねらってい掲載している挿絵や漢字・熟語などを使って、普段の生活や想像

● [この本で学習した漢字]

を漸炊書くこと一を受けたものです。れている漢字を読むこと」や「当該学年までの配当されている漢字を読むこと」や「当該学年までの配当されている漢字学習指導要領の「知識及び技能」①エの「当該学年までに配当さ

のページをもとにして作成した資料です。め この本で学習した漢字」にて教材ごとに示しています。これらページにて提出しています。また、各巻の巻末資料編「漢字のまと教科書本文では、新出漢字を脚注欄や「漢字の広場」の漢字特設

の漢字の定着が一段と進むように工夫しています。字を書くようになっています。くり返し練習することにより、児童構成としては、まず、漢字に振り仮名を付けて読み、その後に漢

●「○年生で学習した漢字」

当表」の順に掲載しています。(一年生は当該学年の漢字を掲載)前学年で学習した漢字すべてを、学習指導要領の「学年別漢字配

にも活用することができます。字の練習をすることができます。字の練習をすることができます。なお、本資料は、書写の硬筆指導最後は、上段のお手本を見ながら丁寧に書くといったステップで漢十字罫のあるマス目に沿って字形を意識しながら書きます。そして、は始筆か所や筆順に注意しながら「なぞり書き」を行い、その後、すべての漢字を三段階で書きながら、習熟を図っています。まず

□ [ひ心がなのれるしゅい]

で、読みやすく丁寧に字を書こうとする態度を養うことができます。がり」「はらい」「むすび」などの点画の書き方に注意して書くことるようになっています。また、始筆から「とめ」おれ」「はね」「まく練習をします。筆順、字形を意識しながら、くり返し練習ができ一年生のみ設定している資料です。五十音順に並んだ平仮名を書

ん。す。学校図書発行教科書の指導に使用する目的以外での使用はできませす。学校図書発行教科書の指導に使用する目的以外での使用はできませ録された作品や文章の著作権は、それぞれの作者・筆者に帰属しています。また、収本書に収録した情報の著作権は学校図書に帰属しています。また、収

どんな したから あいさつを えらんで、 せんで すれば むすびましょう。 よいでしょう。





いれて



ありがとう





ごめんなさい

おはようございます

どんな したから あいさつを えらんで、 せんで すれば むすびましょう。 よいでしょう。



いただきます



さようなら





つれいします

はい

いって みましょう。できたら、○を かくちの かたちに きを つけて、よい ○を かきましょう。 ・くちの かたち しせいで「あいうえお」を しせい

(b))(1) ()	(b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c
			のかたち・しせい
			(,)

みんなで あいうえお2

よく みて、 ていねい 12 かきましょう。







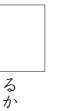




























11

って

みましょう。

じょうずに

できたら、

ু

つけましょう。

くちの

かたちや

しせいに

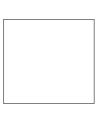
きを

つけながら、

おとに

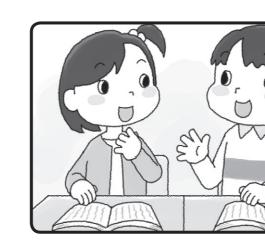
あわせて





おおきく ちいさく

こえの ちいさい ゅ んに ならべましょう。





0

0



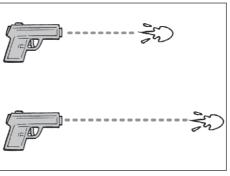
_

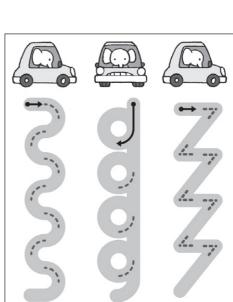
なまえ

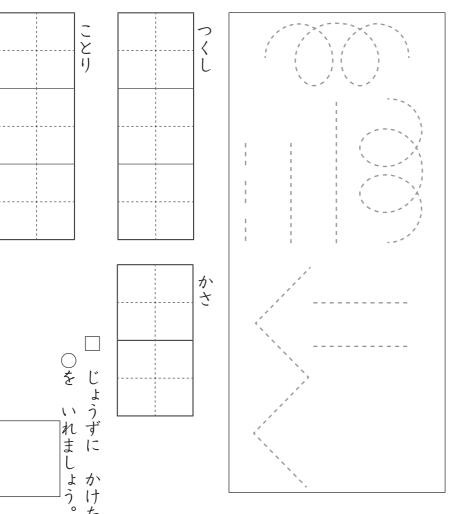
ただしく

もって、

れんしゅうしましょう。







なまえ

どんな じが はいりますか。口の なかに かきましょう。

あかおに

おおに

あいうえお

ささのは

かいもの

らころ

かきくけこ

といも

さしすせそ

たこやき

しんまり

かまの

なにぬねの

たちつてと

はいたよし

らいた

はひふへほ

まいとし

めまき

まみむめも

やいゆえよ

れやれ

やまみち

くして

らいねん

らりるれろ

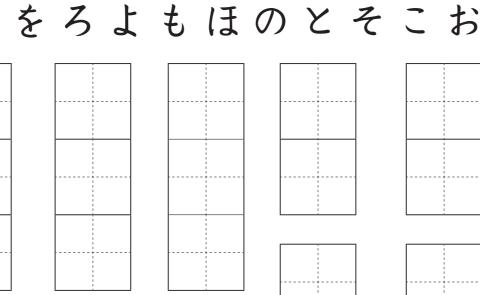
わんさか

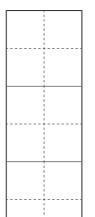
るさだ

わいうえお ん

ひらがなひろば

すきな えらんで、 ことばを つくりましょう。

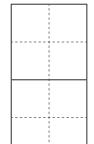


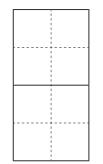


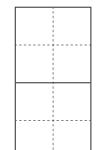
んわらやまはなたさかあ

かきらいっているからいっている。いっというないのではいっている。これではいっている。これではいっている。これではいっている。これではいっている。これではいっている。これではいっという。これではいっという。これにはいっている。これにはいっている。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはな









なまえ

なぞってから

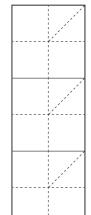
かきましょう。 を かく ば しょを たしかめて、 ていねいに

2

ていねいに

なぞってから

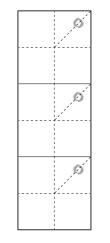
かきましょう。

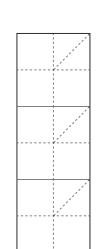


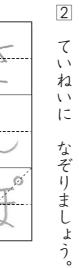
や。のっくじ2

を かく ば しょを たしかめて、 ていねい 12 なぞってから

かきましょう。

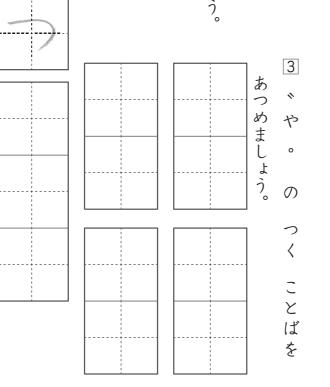






1)		l))
			-	
			_	
			-	
			-	
			J	

0



なまえ

、や。のっくじ3

なまえ

ことばを みましょう。 いれて、 「かばさんの さんぽ」のような ぶんに

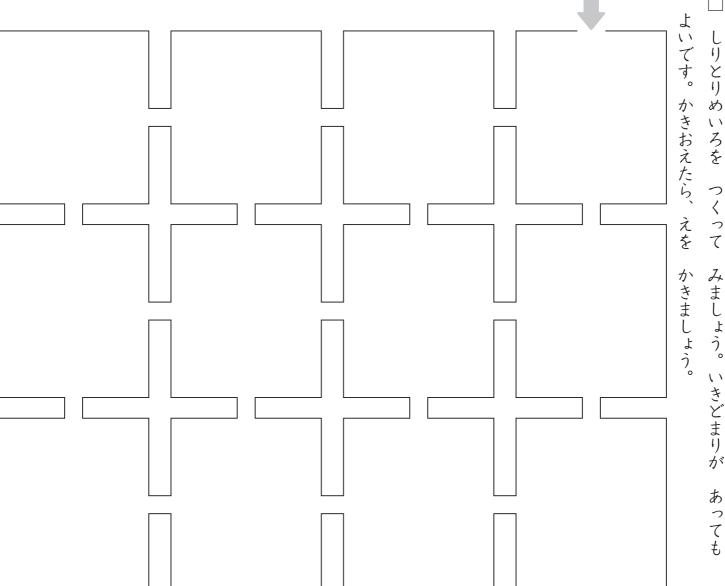
お、か
ナ

りしてなかが

えびすがお

☆「おいかけ」「ながめ」「ゆられて」の ことばを かえても いいです。

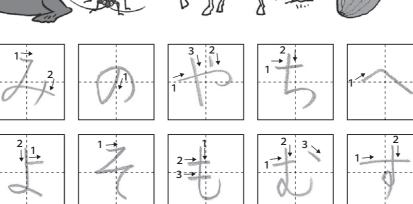
しりとりめいろを つくって みましょう。 いきどまりが あっても



どんな にはいる ことばが じを できますか。 かんがえましょう。

> 2 ていねいに ひらがなを

なぞりましょう。





お

ŧ

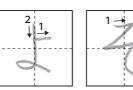


か

ち

あ

む





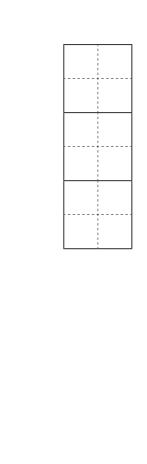


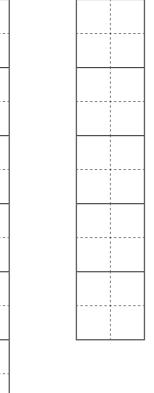


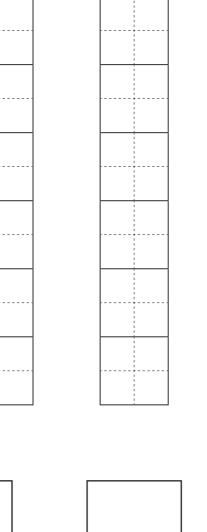
なまえ

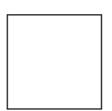
ことばあそび3

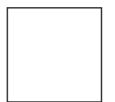
じょうずに できたら、○を たぬきことばを かいて、 ともだちに つけましょう。 もんだいを だしましょう。









































なまえ

(れい) すきな ともだちに、どんな ことを たべものは なんですか。 きいて みたいですか。かいて みましょう。

□ つぎの ぶんを よんで みましょう。

ふみとさんの すきな あそびは なんですか。

ぼくの すきな あそびは、 なわとびです。

| ぼくの すきな あそびは、なわとびです。

わたしも、なわとびが すきです。

どんな とびかたが できますか。

うしろとびが できます。あやとびも できるように なりたいです。

あやかさんの すきな あそびは なんですか。

じょうずに よんだ ぶんを さんこうに できたら、○を かきましょう。 して、 ともだちと おはなししましょう。

ーかいめ
2かいめ
3かいめ

かきましょう。 ともだちの はなしかたや ききかたの よかった ところを

さんへ

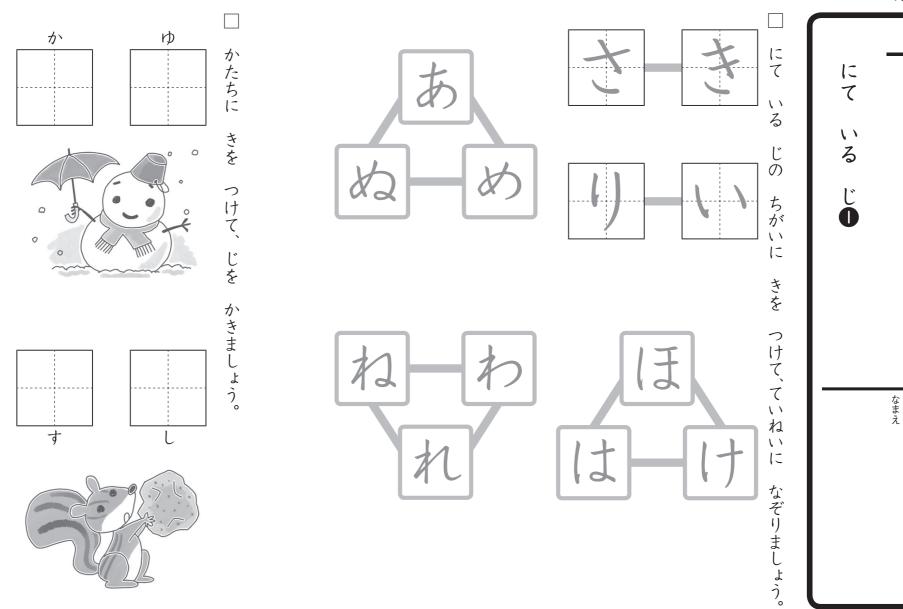
さんへ

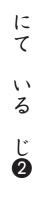
さんへ

よかった ところを ともだちに つたえましょう。

できたら、○を かきましょう。

21



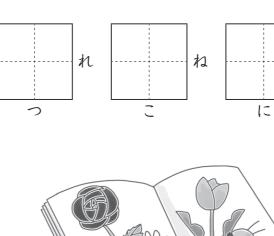


かたちに

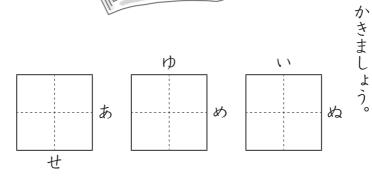
きを

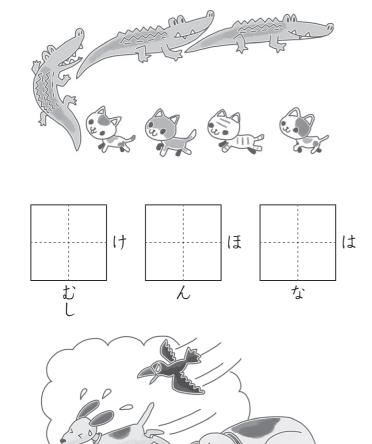
つけて、

じを



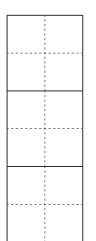




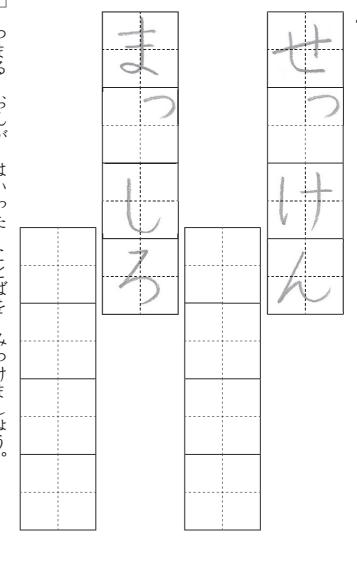


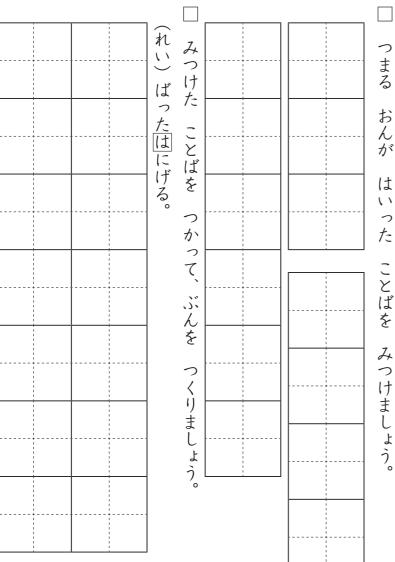
(れい) あめがふってきたので、」 みつけた にて いる じを	\times_{\text{\tinit}\\ \text{\tin}\\ \ti}\\\ \text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tex{\tex	にているじを	にて いる じ3
ので、かさをさしました。(あとめ、ぎとど)じを「つかって、ぶんを「つくりましょう。	どこがにているかな。	みつけましょう。	なまえ

みましょう。 なぞってから つまる かきましょう。 そして、 てを たたきながら よんで



みましょう。 なぞってから つまる おん2 かきましょう。 そして、 てを なまえ たたきながら よんで





かえるの

おはなしの

ゅ

んば

んで

一から

5まで、ばんごうを

かきましょう。











みましょう。 」 なぞってから れい のばす のばす ゆうれ おんが ことばを おん いをみる。 かきましょう。 は () つ た か ことばを ぶんを そして、 4 つけましょう。 てを なまえ りましょう。 たたきながら よんで

えを みて はなそう

ことを えの おはなしして なかで、どんな いますか。 ことが おきて おもった いますか。 ことを

かきましょう。

また、どんな

(1) ☆ おきて いる こと

☆おはなしして いる こ と

> 2 ☆おきて

いる

こと

☆おはなしして いる

こと

4 ☆おきて いる こと

☆おはなしして いる こと

いる こと

3

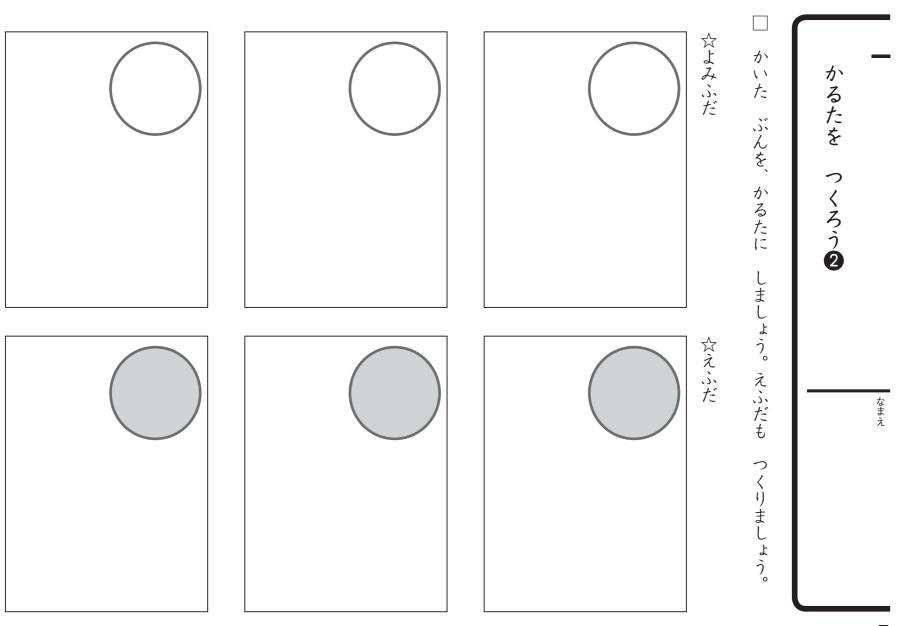
☆ おはな しして

いる

こと

☆ おきて

						(れい)きりんがはしる。 ほんをよむ。□□が□□。□□を□□。という ぶんに しましょう。かるたの よみふだの ぶんを つくりましょう。	かるたを つくろう
0	0	0	0	0	•	しましょう。	なまえ

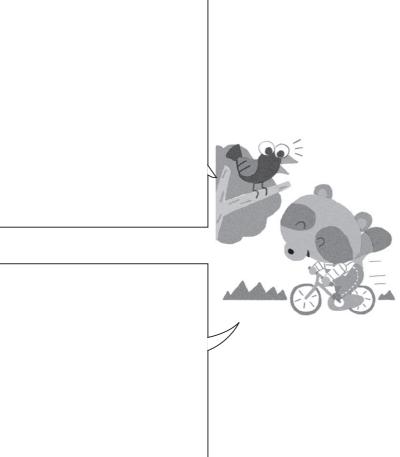


いろいろな かるたを	かるたあそびを し	かるたを つん
	した かん	つくろう3
しって、おもしろかった	かんそうをか	
ろかった	かきましょう。	なまえ
ことを	つ 。	
かきましょう。		

「たぬきの じてんしゃ」 \bigcirc おもしろかった ところを かきましょう。

どんな きもちだったでしょう。らった たぬきの こどもは、

は、どんな きもちだったでしょう。 を おもいついた たぬきの こども しっぽを くわえて のる こと



どんな
きもちだったでしょう。 てしまった たぬきの こどもは、 じてんしゃで しっぽを ひい



でしょう。

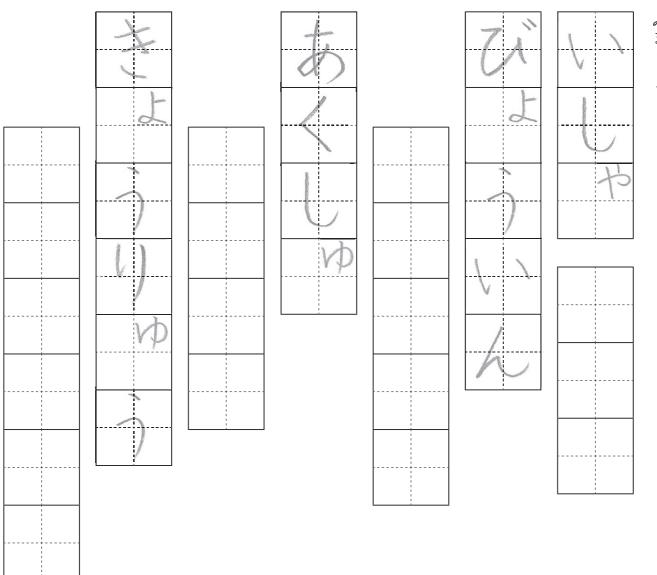
おんぶしている たぬきの こ どもは、どんな きもちだった しっぽを ひもで せなかに んなきもちだったでしょう。 その ときの からすは、ど



, \square
ともだちの
おんどくの
よかった ところ
ところ

ちいさい や・ゅ・ょ●

みましょう。 なぞってから かきましょう。 そして、てを たたきながら



5
1,1
さ
1, 1
や・
rÞ
։ Հ
9

(れい)びょういん凶いく		ちいさい や・ゆ・よ	しょっき	きゅうり	\Lambda	□ ちいさい や・ゆ・よの
つかって、ぶんを つくりま		が はいった ことばを み				の はいった ことばを か
しょう。		みつけましょう。				かきましょう。

1	k
•	٤
;	1
7	
	_
_	ı
ď	į

えや

たしかめながら

よみましょう。

ことる	かたち		
	だから、 	こたえ①	71
		7	これけ
			な、なんの
			クイズ① これは、なんの あしでしょう。
			っ。

こできる		かたち		
	だから、			
	b ,		こたえ②	クイズ②
				これは、
				なんの
				クイズ② これは、なんの あしでしょう。
	 			よう。
1 1 1 1	1	1 1 1 1	1 I 1	

えや

しゃしんで

たしかめながら

よみましょう。

ずかしなごで	ことる	かたち		
				Hin
こっくて、アイズをつくりましょう。		2	こたえ③	ク イズ ③
フイズを				これは、
つく)				なんの
ر پ ن ک				クイズ③ これは、なんの あしでしょう。
				j°.

こできる		かたち		
	だから、		 こたえ	クイズ

すかんなどで しらべて、クイズを つくりましょう。 っ	いきものの あしる
------------------------------	-----------

	きりとって、
	つか
7	かいましょう。

					1	
				- 1	i	ح
- 1		- 1		- 1		ŧ ,
1		1		- 1	1	<i>t</i> ="
1				1		+
		i	i			5
i		i	i			(/)
					i	
		l				7
					I	1
- 1				- 1		7"
- 1		- 1		- 1	1	
- 1		- 1		- 1	- 1	\mathcal{O}
- 1		- 1		- 1	1	
- 1		1		- 1	1	ともだちの クイズの かんそうを かきましょう。
1						1
					i	1
i	i	i	i	i		7
i		i			 - -	う
		ı	I			\$
1			I			٠
						,
- 1		I		- 1	1	カ
- 1		- 1		- 1	- 1	き
- 1		1		- 1		+
-		1		- 1		î
1			1	1		L
1						Ţ
	i	i	i		i	7
i	i	i	i	i	i	0
		i				
1	I		I		I	
1					1	
					1	
- 1					1	
ı	1	1	ı		1	

1	 	 	 	 	
]	 	 	 	 	
1	 	 	 	 	
 	 - 	 - 	 - 	 	
1	 	l I	 	 	
]	 	 	 	 	
 	 	 	 	 - 	
1	 	 	 	 	
 	 	 - 	 - 	 - 	
] 	l	 	l	 	
1	 	l I	 	 	
<u> </u>	 	 	 	 	

なまえ

ともだちの した ことを、かきうつしましょう。

)さんの した こと

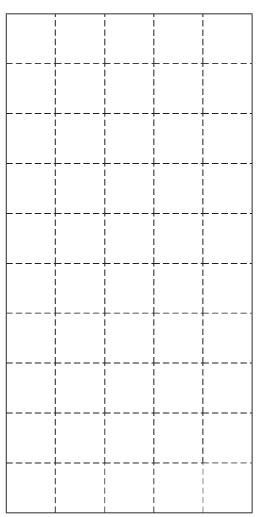
さんの した こと

さんの した C Y

なまえ

きのうの ことを、にっきに かいて みましょう。

① したがきを しましょう。



2 「、」「。」「は」「を」「へ」「つ」「や」「ゆ」「ょ」 つかえて したがきをよみかえしましょう。 いますか。 が ただしく

③ ていねいに、せいしょしましょう。

_	 	 	 	
		L	 	
	L	 	 	
	⊢−−−- '	 	 	
	i 	i ⊢	 -	

43

] うで☆			
☆ふりかえりの だふりかえりの がくしゅうを		ともだちの	き の う の
- L			
こと] [つぎになった こと]	さんへ	ぶんしょうで	ر ک 4
1		よかった	
りたの			
すご こと と と		ところを、おてがみに	なまえ
おもった			
		しましょう	
_ ك		よう	

は・を・へ

なぞなぞぶんから、「は・を・ <u>\</u> を みつけて、○を つけましょう。

えみちゃんへ

なぞなぞを つくったので、

こたえが わかったら おしえてください。

わたしは、だれでしょう。

- わたしは、とびます。
- ②わたしは、こうえんへ いきます。
- ③わたしは、まめが すきです。

こはるより

ļ i	1		
 	ļ		なぞなぞぶんを かきうつしましょう。
ļ	1	ļ	ヹ
l I	l i	l i	7
 	İ		な
l	1	I	ヹ
	!		7.
] 	 		17,
ĺ	İ	İ	\ \
<u> </u>	1	<u> </u>	7
]]]	 	7
I	i	i	
l	Į.	l l	か
] 			+
]	i I		2
İ	İ	i	う
	1		Ó
l I	l I		
İ	i	i	
l	I	l l	+
l i	I I		1
1	i		
i İ	İ	İ	ょ
	1		ì
] 	 		/
İ	İ	i	_
]	1	!	
 	I I	1	
İ	i	i	
!	1	1	
l I			
	i İ		
İ	İ	İ	
	1		
 	I I	 	
İ	i	: 	
!	!	!	
]] 		
	i		
l	1		
 -	1		

なまえ

くっつきの「は・を・へ」に きを つけて、 かきうつしましょう。

わたしははとです。

は

わたしは とびます。

は

・おにごっこを します。

を

おりがみを おります。

を

・こうえんへ いきます。



へやへ もどります。

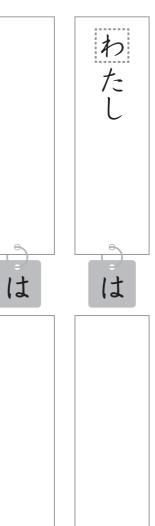




は・を・へる

さんこうに、 「は・を・へ」 を つ か つ て、 ぶんを つ りましょう。

えを

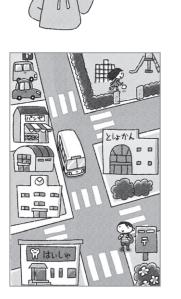


0

0

	\$	
0	0	

	^			8
0		0		



「ぼ

はこうえ

6

 $\overline{}$

1,1

のように、

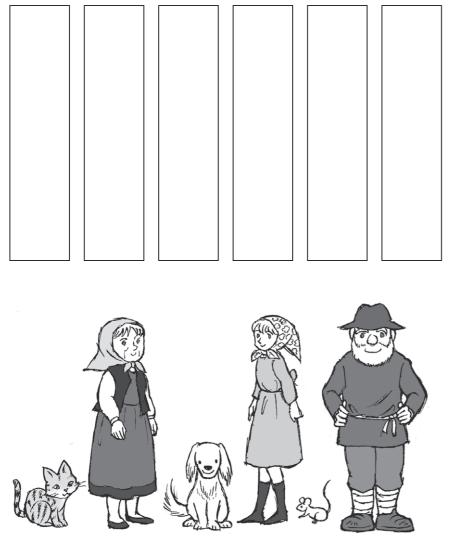
つなげ

なまえ

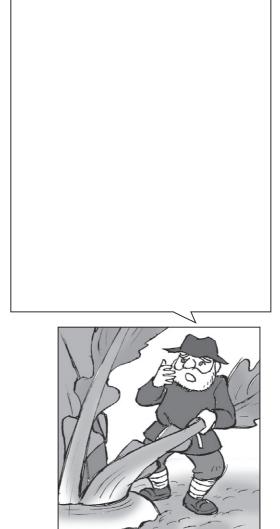
47

おおきな かぶ

ところ」 おはなしを を かきましょう。 よんで、「おもしろかった ところ」や「きに なった

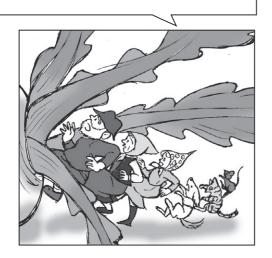


おもったでしょう。 なかなか かぶが ぬけなくて、 おじいさんは どんな ことを



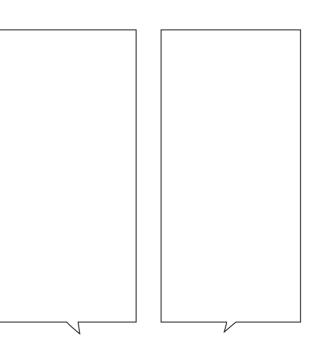
やっと かぶが ぬけたとき、 おじいさんは どんな ことを





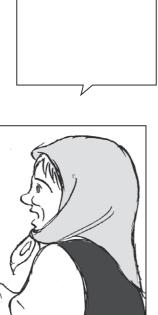
おおきな かぶる

なんと おじいさんが 1,1 ったでしょう。 おばあさんを よんだ とき、 ふたりは





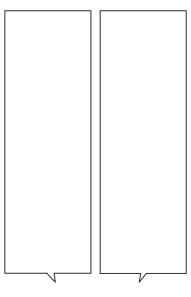
なんと おばあさんが () ったでしょう。 まごを よんだ とき、 ふたりは





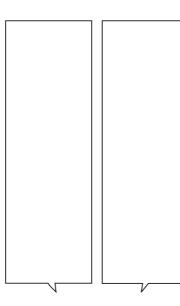
おおきな かぶる

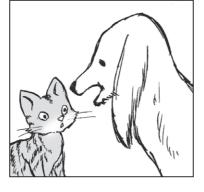
11 まごが ったでしょう。 いぬを よんだ とき、ふたりは なんと



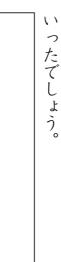


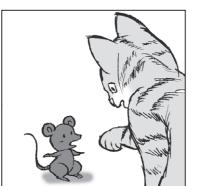
いぬが ったでしょう。 ねこを よんだ とき、ふたりは なんと





ねこが ねずみを よんだ とき、 ふたりは なんと





ありますか。 □ ともだちの おはなしを きいて、よみたくなった ほんは	「すきな ところ」	↑きましょう。 かきましょう。すきな ところも	□ 「がっこうとしょかん」には、どんな やくそくが ありましたか。	ほんをよもう	なまえ
		Ü	たか。		

かぞえうた

かきましょう。 かぞえうたを よみましょう。 かんじの よみがなを(

に

六つ 五つ 三つ 九つ せっ ハ つ 四つ こっそり やまでら なぞなぞ むずむず よろよろ ふんわり ひらくよ みずあび いろいろ ふきんが むかでが よみちを やまばと なぞとき インクが みずぎが ひまわり ココアを 三ちゃく 五しょく 九はい) せもん) 六ぴき 四にんし 八わ 二まい

とうとう

とびばこ

十だん

かんじを せんで

むすびましょう。

3

5

7

8

. 9

. 10

2

六·

/\ •

四

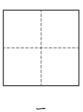
五 ·

九 ·

よみがなを

五

ていね かきましょう。



/\

九

六

セ



十



三

四



五



かきましょう。

六

七

十

九

かぞえかたを

せんで

むすびましょう。

おさら



・[まい]・





かさ



「だい」・





・「さつ」・



じてんしゃ







ねこ





ほん・







「ほん」 あるよ。



よむ

も の













・たのしかった こと

えにっきで、ともだちに

つたえたい

ことを

かんがえましょう。

- ・おもしろかった こと
- ・くやしかった こと
- ・うれしかった こと
- ・おどろいた こと

かんがえた なかから、かきたい ことを きめましょう。

(れい) かぶとむしを とって、うれしかった こと

えらんだ ことに ついて、 くわしく おもいだして かきましょう。

えにっきを かこう2

	 1					
	+	*		+		
	*	*	+	*		*
	*	*				+
	*	*		*	**************************************	*
		*				
				*		
	*	*				
					ì	ナーキャ

なまえ

		,
		5/1/
		λ l
	-	
	71	<i>ī</i>
	74	+
	-	
		1
	>	~
	·	#
かまえ		
£4 H4νK		7 / 4

なまえ

えにっきを かこう3

あげましょう。 ともだちの

)さんへ

)さんへ

うまく できた ことを ふりかえりましょう。

いるか

ていねいに なぞりましょう。

いないか いるか

よるなら いるかいつなら いるか

いない

いな

()

いるか

また きて みるか

いない

か

いるか

いる

いる

いるか

()

()

いるか

いるか

いな

いか

ゆめ

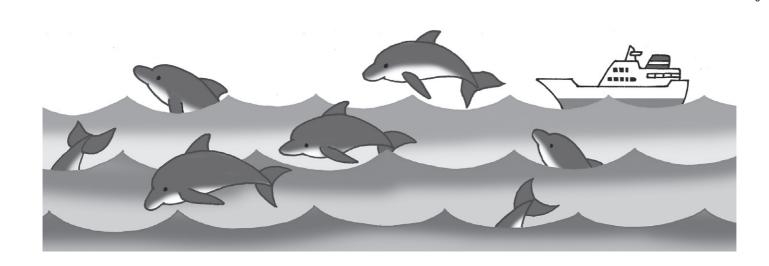
みて

いるか

ねて

いる

いるか



ていねいに なぞりましょう。

ふねでも

か

()

7

みましょうと

おさるが ふねを かきました

もこもこ はかそうと

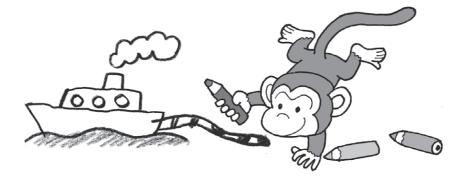
えんとつ $\langle \ \ \rangle$ っぽん たてました

なんだか すこし さみしいと

ぼも () っぽん つけました

ほんとに じょうずに かけたなと

さかだち () 7 か () やりました



ことをおもいだして、かきましょう。 なつやすみに した たのしかった ことや、こころに のこった

(れい)・あさがおの ・おばあちゃんの はなを たくさん さかせた こと。 いえに いったこと。

おもいだした ことから、ともだちに つたえたい ことを えらんで、

かきましょう。

	つたえたい こと	おもいでなつやすみの	」 つたえたい ことを かきだー
	じゅん		かきだしましょう。

ふりかえりましょう。 はなす ときや きく ときに、どんな ことに きを つけましたか。

〈はなす とき〉

へきく
〈きく とき〉

はまべで ひろったよ●

かきましょう。 よんで おもしろかった ことや ふしぎに おもった ことを

といの

ぶんを

かきだしましょう。

はまべて
ひろった
ものを
まとめましょう。

	木のみ
どんぐり	
まきがい	
二まいがい	
	ようなもの
	くさの

はまべて ひろったよ2

といの ぶんの こたえを みつけましょう。

〈かいそうは〉

もとの ばしょ

たどりついた ばしょ

どのように たどりついたか

◇二まいがいや まきがいは〉

もとの ばしょ

たどりついた ばしょ

どのように たどりついたか

へくりや くるみ、 どんぐりは〉

もとの ばしょ

> たどりついた ばしょ

どのように たどりついたか

69

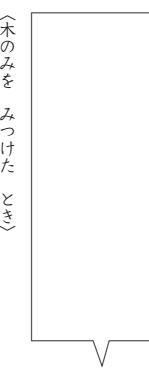
はまべて ひろったよ3

へくさのような みつけた ひとが ものを おもった みつけた ことを とき〉 かんがえて かきましょう。





 $\widehat{\ \ }$ ろい ろな 11 ろや かたちの か 1,1 を みつけた とき〉





〈木のみを 4 つけた とき〉



2 よう か 1 する ことを か んがえて かきましょう。

かたかなを みつけよう●

えから、

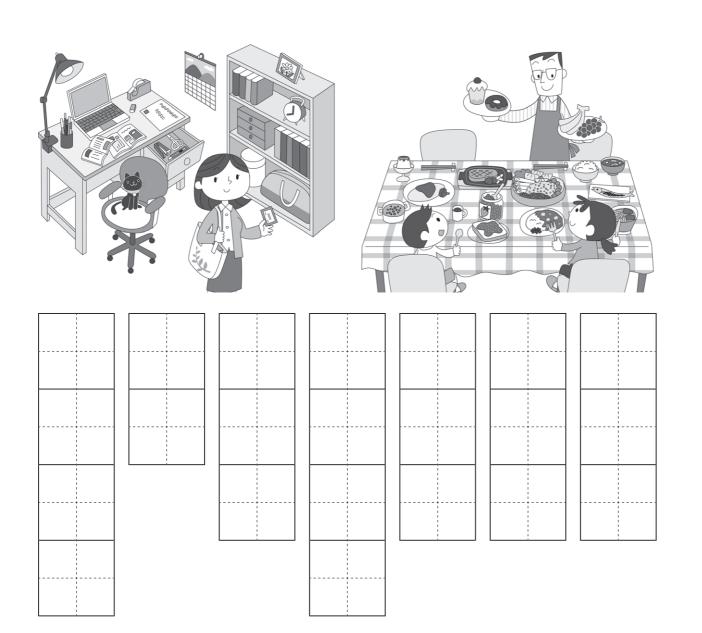
かたかなで

かく

ものを

みつけて

かきましょう。



がっこうで みつけたよ●

がっこうで みつけた ものを かきましょう。

〈みつけた もの〉

よしおさんのように、

•

•

よしおさんが〈みつけた もの〉

・いしの したの だんごむし。・たくさんの ひまわりの たね。

・なにかを はこんでいる あり。

] つぎの カードに まとめましょう。

・みつけた ものの なかから、 かく ことを きめましょう。

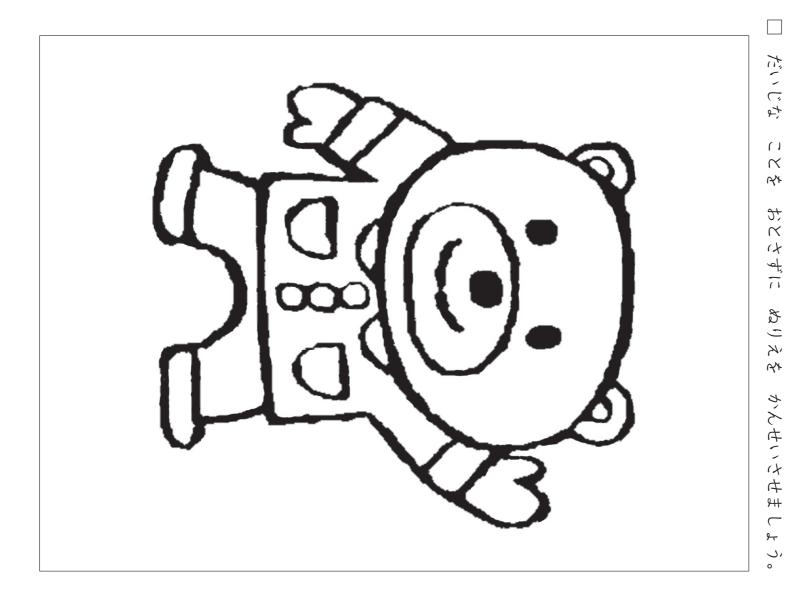
・えをかきましょう。

・えを かいてから、きが ついた ことを かきましょう。

(ばしょ、うごき、おおきさ、かたち、みため、てざわり、 においなど)

			みつけたよ(

「ぬりえゲーム」を しよう



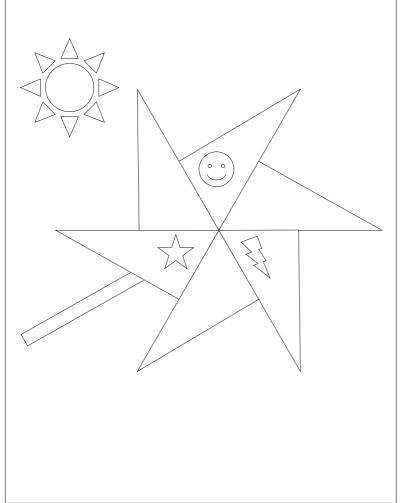
ことばを ききとろう

「ぬりえゲーム」を しよう2

なまえ

〈ヒントカード〉 だいじな ことを おとさずに、 ぬりえを かんせいさせましょう。

りです。	ぼうは、ちゃいろです。
ほしのとなりは、オレンジです。	です。ほしがあるところは、きいろ
は、あかです。かみなりマークのはんたいがわ	ろです。にこにこマークは、みどりい
でぬります。 じいろです。 しつの三かくは、ぼうとおな	でぬります。一つの三かくは、一つのいろ

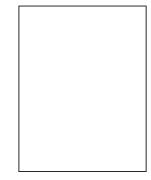


※使う色は「赤・青・黄・オレンジ・茶・緑」 の6色。太陽はカットしても可。

「山」という かんじは、 どのように して

できたでしょう。

(2





山の(「山」のかんじは、

からできました。

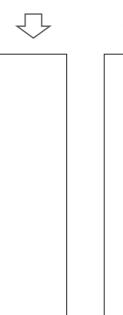
えと もじの にて いる ところを かきましょう。

















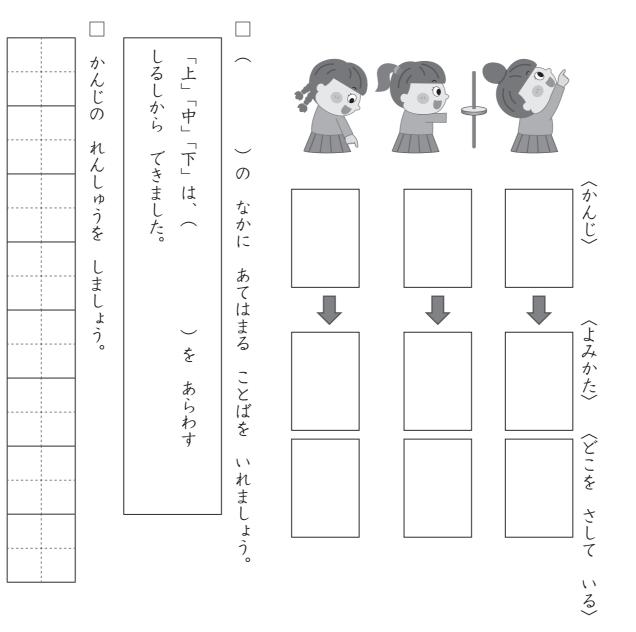






かんじの できかた2

どこを さして いるでしょう。 どんな かんじが できたでしょう。



かきましょう。 「さるじぞう」の おはなしを きいて おもしろかった ところを

-			

□ グループで 「さるじぞう」をよむ じゅんびを しましょう。

①よみたい ばめん

するか、きめましょう。

ばめん

③じぶんの おんどくしたい ところを やくで、くふうして

だれ やく

かんがえましょう。

かんじの まとめ (P80~81①) かんじ① ほんで がくしゅうした

あたらしい

かんじを よみましょう。

かぞえうた

かけっこで 一ばんに なりました。

一つずつ ていねいに つくりましょう。

3 おりがみを二まいください。

4 いもうとと としが 二つ はなれています。

かみに 三かくと 四かくを かきます。

(5)

6 のこりの おかしは、あと 三つか 四つです。 ()()()

えんぴつを 四ほん、たまごを 五つ かいました。

五にんか 六にんで はんを つくりましょう。)(

8

かんじし ほんで がくしゅうした

かぞえうた

あたらしい

かんじを

かきましょう。

かけっこで

ひと

いち

ばんに なりました。

2

つずつ

ていねいに

つくりましょう。

3 おりがみを まい ください。

1:

ふた

4 いもうとと としが はなれて います。

(5) かみに かくと

あと みっ かくを

かきます。

つか

つです。

6

のこりの

おかしは、

7

えんぴつを

ほん、

たまごを いつ つ かいました。

8 にんか ろく にんで はんを つくりましょう。

かんじの まとめ (P80~81②) かんじ② ほんで がくしゅうした

なまえ

かぞえうた

あたらしい

かんじをよみましょう。

くりを一六つ、どんぐりを セ ひろいました。

2 七がつに ほんを 七さつ よみました。

3 八がつに かんじを 八つ おぼえました。

九がつに 九ひきの こぶたが うまれました。

(5) にいさんは、ぼくより、九つも、としうえです。

6 十がつ十かはたのしいうんどうかいです。

こうていに 十ぽんの きを うえました。

かんじの まとめ (P80~81②)

ほんで がくしゅうした

あたらしい かんじ② かんじを かきましょう。

かぞえうた





2

がつに

ほんを

さっ

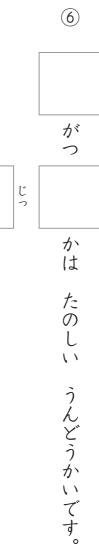
よみました。







とお



かんじ③ この ほんで がくしゅうした | かんじの まとめ (P%~10)

なまえ

あたらしい かんじを よみましょう。

はまべで ひろったよ

きょうしつの 中| はいりましょう。

2 じゅぎょう中は、 おしゃべりを しては いけません。

3 おじいさんは、九十さいまで生きました。

4 山 の 上に おおきな 木が ありました。

(5) 川| で おもい いしをもち上げました。

6 やすみじかんに 上きゅうせいと あそびました。

なまえ

かんじ③ ほんで

あたらしい かんじを かきましょう。

はまべで ひろったよ

きょうしつの に はいりましょう。

なか

ちゅう

2 じゅぎょう は、 おしゃべりを しては いけません。

おじいさんは、九十さいまで きました。

()

3

やま

うえ

き

(5) 4 かわ で \mathcal{O} おもい いしを 15 おおきな もち あ げました。 が ありました。

6 やすみじかんに きゅうせいと あそびました。

じょう

この ほんで がくしゅうした かんじの まとめ (P12~12) かんじ④

なまえ

あたらしい かんじを よみましょう。

かんじの できかた

日よう日にこうえんへいきました。

2 たくさんの人が、 月を かんさつして いました。

3 ようふくの 上下で いろを そろえました。

4 木の下に せんせいが 立って います。

さるじぞう

- (5) 大すきな えを かいて いました。
- 6 目を さますと、
- 7 川で 小いしをひろいました。 あめが ふって いました。

かんじの まとめ (P11~12)

かんじる ほんで がくしゅうした

あたらしい かんじを かきましょう。

かんじの にち できかた

よう び に こうえんへ いきました。

ひと

2 たくさんの げ が、 を かんさつして いました。

3 ようふくの した 上 て いろを t そろえました。

さるじぞう

だい

4

木の

に

せんせいが

って

います。

- (5) すきな えを かいて いました。
- 6 を さますと、 あめが ふって いました。

め

7 川で いしを ひろいました。

89

ひらがなの れんしゅうし

ひらがなの

れんしゅうを

しましょう。

8	ŧ		\bigcirc		7	t	19	ſJ	さ	入	あ
t	14	^	1\$	2	7	5	tt	Z		お	\
40	む	13	77	#2	な	7	7		け	か)

ひらがなの れんしゅう②

				3	¥)	rþ	ひらがなの れんしゅうを
				わ	3	76	うをしましょう。
				を	扎	b	

かん字の

れんしゅうを

しましょう。

かん字② 学しゅうする

かん字の

れんしゅうを

しましょう。

/\	X	土	町	竹	村	早	7	J	正	森	女
百	年	<u> </u>	天	中	大	草)]]	石	生	人	<i>)</i>]\
文	白	B	田	虫	男	足	先	赤	青	水	+

かん字③ 学しゅうする

かん字の

れんしゅうを

しましょう。

						林	B	木
		·	·	·		·		
						六	立	本
		·	·	·	·	·		
							力	名